

新宿通信

NO. 63

令和3年3月16日
東京都立新宿高等学校
進路指導部

- 祝、卒業
- 学年末考査終了
- 合格速報会が行われます
- どんな春休み、どんな新学期？

一芸が人生を支えてくれている...かな。

化学科 青柳 利陽

稽古は嫌いだった。でも不思議にやめるという決断には至らなかった。

小学校4年の4月、母に勧められ警察で剣道をはじめた。母の、「竹刀が当たった乾いた音が好きで自分の子供には剣道をやらせたかった。」という、考えてみれば迷惑な押しつけから始まった習いごとだった。中学では、入学と同時に迷わず剣道部に入部。しかし、顧問の先生が、部員に稽古をやらせておいて、自分は剣道着のまま隣でやっている女子バレー部と一緒にバレーをしている楽しそうな姿を見ていやになり、剣道部を退部、野球部に入り直した。部活で野球をやり、その後、警察に剣道の稽古をしにいくという生活をしていた中学時代。

高校は制服のない学校だった。剣道部と野球部で迷っていた。色とりどりの私服を着た生徒が多い中、坊主、詰め襟、はるかかなたの先輩に大声で挨拶をするしきたりの野球部を選ぶ勇気がなく、剣道部に入部した。積極的にに入ったわけではない剣道部。しかし今、顧みると、この時が大きな分かれ道だった。違う決断をしていたら、どんなに違った人生だったんだろうと想像もつかない。ただ、消極的な決断、当然、高校でも稽古は嫌いだった。稽古が近づく午後になると嫌な気持ちになっていたが、なぜか、放課後には剣道場において稽古をしてから帰るという生活。よくもまあサボらずに続いたものだと、今でもちょっと不思議な気持ちがする。あのモチベーションは何だったのだろう。

大学でも知り合いの先輩に捕まって剣道を続けた。もういいやと、大学では昇段審査を受けずに過ごした。高校でとった三段のままだった。段なんて必要ないと思っていた。

教員になった初めての学校。たまたま一緒に帰った同僚が剣道部を手伝っている先生で、主顧問を紹介してくれた。そんな、ひょんなことから非常勤講師ながら剣道部を手伝うことに。あるとき、その主顧問の先生から怒られた。「審査、受けてないのか。段は受けにやいかんよ。」この一言で受けざるを得なかった昇段審査。でも、その審査を受けたことで、自分の中に段に対する欲が生まれるという変化があった。大きな気持ちの変化。それでも稽古はあまり好きにはなれなかった。

10年前くらいだったか、そんな気持ちに変化があった。大きなきっかけがあったわけではない。情けない話しだけれど、やっと、つらく嫌いな種類の稽古も、その大切さを自分なりに解釈でき、そんなつらい稽古が気持ち的に苦にならなくなってきたのだ。今では、つらい部分も含めて剣道の稽古を「好き」と言える。息は上がり疲れるが楽しめる。自分にとっての大変な時間となっている。出身高校のOB会で稽古をし、地元の剣友会で色々な人と稽古をし、楽しい時間を過ごしている。生徒との稽古もほんとうに楽しく、そこから学ぶことがたくさんある。

私にとっての剣道は、人生を生きていく上での灯台の役割をしてくれているのだと、改めて思う。たくさんの人との出会い、別れ、そして、影響を受けた言葉の数々。人生そのものを語ることは、照れもあるためか、哲学的になりすぎるためか、なかなか機会がない。しかし、剣道をよくしていこうという会話は、たいがい稽古の後、ざっくばらんに語られる。すなわち、たくさん触れるのだ。軽く語られるそんな

会話の中の言葉が、その時そのときの行くべき方向を指し示し、導いてくれた。剣道が指し示してくれ、実行した様々な経験が人生に投影され、私の人格が形成されてきたのだ。

この4月で剣道を始めて46年となる。長い長い時間、剣道のある人生を歩んできた。数年前、先代から剣友会の会長を仰せつかり、なんとかその立場を務めている。学校に上がらない小さな子供から、齡八十を数える人生の大先輩まで所属している会である。私の教員としての生活はあと数年で終わる、が、アフター仕事の生きがいが見つかったのである。これも剣道と出会い、やめずにいたおかげ。竹刀の音が好きな、まだ健在の母に本当に感謝なのである。

□ 祝、卒業！

大学合格状況(現役生 3/10 現在)

国公立大学	人数
東京大	1
一橋大	3
東工大	5
京都大	0
上記 国公立難関四大学	9
その他国公立大	73
国公立大学 現役合格者数 計	82
私立大学	人数
早慶上智理科大 (早稲田・慶應義塾・上智・東京理科)	166
GMARCH (学習院・明治・青山学院・立教・中央・法政)	343
成蹊・成城・武藏・明治学院	87
日東駒専 (日本・東洋・駒沢・専修)	114

1月中旬の大学入学共通テストに始まった今年の大入試も、いよいよ大詰めを迎えてます。現役生の3月10日現在の合格状況は表のとおりです(国公立大は

前期の人数)。このほか、表には入っていませんが、浪人生も健闘しています。東工大、北海道大・医、東北大、筑波大などの国公立大学、早稲田大、慶應大などの私立大学合格の知らせが、続々と届いています。新型コロナウイルス感染症への対策として、さまざまな変更の多かった今年の入試ですが、それに負けず入試に臨み、新宿生の一年間の頑張りが実を結んでいます。

私大はここ数年、各大学で合格者数の絞り込みが行われており、自分の得意とする3教科に絞り込んで挑戦しても、必ずしも結果に結びつくとは限りません。こうした傾向は今後も続くと思われます。発表はほぼ終わっていますが、繰り上げ合格等で人数が変わる場合があります。表は現役生のみの数ですので、これに浪人生の人数が加算されます。新宿高校としての最終結果報告は4月に入ってからになります。

3年生諸君、そして浪人して頑張った72回生諸君の努力に大きな拍手を送ります。希望した進路に進む人、まだ結果が出ていない人、もう一度力をためてチャレンジを決意する人。4月からの進路はさまざまだと思いますが、どれも自分の人生です。自信と誇りをもって、前を向いて進んでください。

ご卒業おめでとうございます。皆さんの将来に幸多きことを、心からお祈りします。

卒業おめでとう



○学年末考査 終了

オンライン授業や短縮授業を終えて、いよいよ今年度最後の考査である、学年末考査が行われました。結果はどうだったでしょうか。満足のいく結果となったでしょうか。

学年末考査は、その直前の時期に勉強した内容だけでなく、今年度一年間の学習内容が総合的に出題されているはずです。どの教科においても、この学年末考査の解き直しがとても重要で、次年度に繋がるものです。しっかりと解き直し、自分の「分かっていないこと」の発見に利用しましょう。また、今年度の考査を振り返ってみると、自分の「ミスの傾向」も分かるはずです。時間配分、解答のペース、誤字・脱字、設問の読み間違い、勘違いや思い込み…。注意すれば解けた問題を落としていませんでしたか？自分の犯しがちなミスを知ることで、意識してミスを防ぐことができます。

○合格速報会が行われます

3月24日に、合格速報会が行われます。1・2年生に向けて、卒業した3年生から、自身の志望校合格までの道のりを語ってもらいます。これは、1・2年の時期の過ごし方や勉強法など、先輩の生の声を聞くことができる貴重な時間です。

皆さんにとって、「受験」は漠然と姿の見えないもので、だからこそそれに挑む不安も大きいでしょう。先輩方の経験談をしっかりと聞いて、「受験」「志望校」「受験生活」

のイメージを明確にし、今後の高校生活を有意義なものにしていきましょう。

○どんな春休み、どんな新学期？

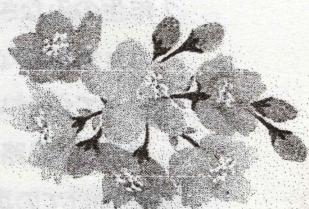
以前発行の「新宿通信」61号では、「『自由な時間』『休み』をどう過ごすか」について載せました。在校生の皆さんには、3月26日から4月5日まで、10日間の休業期間が待っています。各教科から出される課題は当然のこととして、この時間をどう過ごすか、考えてみてください。

学年末を迎える、授業が終わり行事日が続きます。1・2年生はほっと一息つきたいところでしょうが、それと同時に、3年生の受験結果を見て、身の引き締まる思いもしれていることでしょう。そんな気持ちになったときがチャンスです。これまでの一年間の取りこぼしている部分、未消化の部分は、日々少しずつ積み重なってしまいます。必ずこの春休み中に補っておきましょう。

4月には新入生が入学し、皆さんもひとつ進級して、学校の中心学年として、そして最上級学年として、大切な一年が始まります。その時の自分を助けるのか、苦しめてしまうのかは自分次第です！

【今後の予定】

- 後期生徒大会 3/19 金
- 合格速報会 3/24 水
- 修了式・離任式 3/25 木



学んだことはどこかでつながっている。

元中学校理科教諭・現音響機器メーカーSE

60回生 楠木綿太

ゆうた

私が新宿高校に入ったのは2005年(平成17年)、みなさんが生まれて間もない頃です。当時の新宿高校は3代目新校舎に引っ越しばかり。放送研究部と生物部、電腦同好会を兼部しながら学園祭実行委員や林間学校実行委員、卒業記念DVDの作成など、いろいろと取り組みました。朝陽祭では縁日やお化け屋敷、体育特講選択によるダブルダッチ(音響の担当をしました)など、ダンスや劇ばかりの今とは違ったものが行われていたことを懐かしく思います。

大学入試では周囲に反対されつつも、生命科学科を AO 入試、物理学科を一般入試で受験することにしました。当時は理系物理化学選択でしたが、2 年生で生物（当時は理科総合 B）の授業を受けて面白さに気づいたためです。AO 入試は、3 年生の 4 月に志望理由や生物に関する経験作文にして提出、講義の受講が 6 コマ、実験を丸 2 日間、ゼミ形式の発表と英語で書かれた教科書の輪読でした。それぞれにレポートや課題があり、最終的に 10 月に面接を行って合否が決まるというものです。ゼミ形式の発表は朝陽祭での生物部の展示発表を基に内容作成をしました。その結果、選択していた物理化学ではなく、生物の世界で修士課程までの 6 年間を過ごすことになります。修士論文では物質の電子受容体や電子供与体の関係、微生物の共生関係がテーマでした。修士修了後は、公立中学校で 6 年間理科教員として勤めました。

現在の仕事は生物学とは程遠い、業務用放送機器やネットワークを使った防犯カメラのシステム設計などを行っています。職種としてはシステムエンジニアです。例えば非常放送設備のシステム設計であれば、構成している機器の消費電力や熱容量計算、ISO や JIS といった様々な規格や消防法といった関連法規など、多くの知識理解が必要になってきます。いつになんでも勉強の日々です。それでも、自分が設計したシステムが世の中で使われ、人の役に立っていることがやりがいになっています。

転職をするとき、中学校の仕事の合間に縫いながら消防設備士甲種第 4 類を取得しました。並行して様々なことに取り組むのは大変ですが、高校で様々なことに取り組んだ経験や学んだことが今に活きています。そして振り返ると、自分自身の職業選択は受容者から供与者として活躍できる職業を選んだと思っています。

1 年生のみなさん

約 1 年前、新宿高校への入学が決まったとほぼ同時に残り僅かな中学校生活が失われてしまったと思います。しかし、その間に中学校の先生たちはみなさんの卒業式をなんとしてもやるために様々に奮闘していました。高校の先生も入学式や朝陽祭など、いろいろと考えてくれていたと思います。思い通りにいかないことがあっても、自らが進むべき道はあるはずです。これから新宿高校の中心となります。いろいろと挑戦をしながら頑張って下さい。

2 年生のみなさん

コロナ禍になる前の新宿高校を知っているのはみなさんです。ぜひ、先輩方が築いてきた伝統を後輩へ伝えていってください。

そして、進路選択は既に始まっています。上にも書きましたが、AO 入試は 4 月が始まりました。同時に一般入試に向けての準備、さらに高校生活最後の 1 年間を過ごすことになります。今しかできないことがあります。後悔のないように 1 日 1 日を大切にして頑張ってください。

3 年生のみなさん

卒業後の進路が決まっているみなさんはこの文章を読んでいないかもしれません。しかし、進路決定はゴールではなくスタートになります。これからどのように生きていくか、自分自身で切り拓いていく必要があります。それぞれの道で頑張ってください。

止まない雨はありません。また、雨降って地固まるという諺もあります。世界的に「今まで通り」の生活ができなくなった現在、歯がゆいことが多いと思います。それでも十代で身に着けたものは何年経ってもゼロにはなりません。今はただ、未来を見続けて前へ進むことが重要だと考えます。これからのみなさんが世界で活躍することを応援しています。

この「先輩方の言葉」は、新宿高等学校同窓会である「朝陽会」の方々のご協力で、毎号卒業生からご寄稿をいただいている。今年度も、社会で活躍される皆さんのが先輩方から多くのご寄稿をいただきました。

進路を考えるときに、ぜひ参考にしてください！